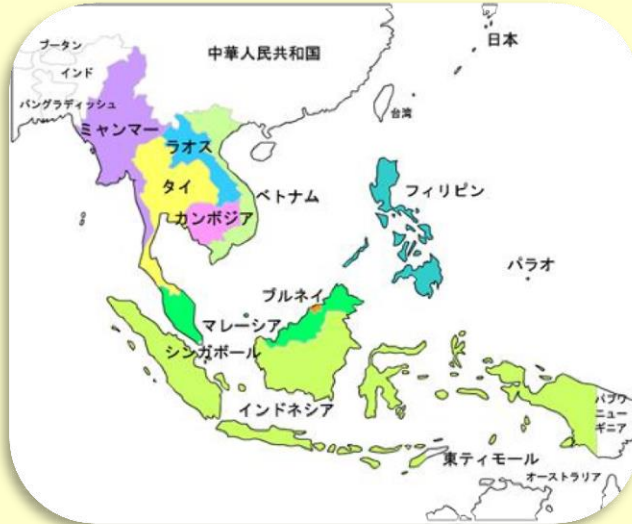




# ① 大メコン圏の中のミャンマー

(ミャンマー・カンボジア・ラオス・ベトナム・タイを合わせた人口は2.3億人)

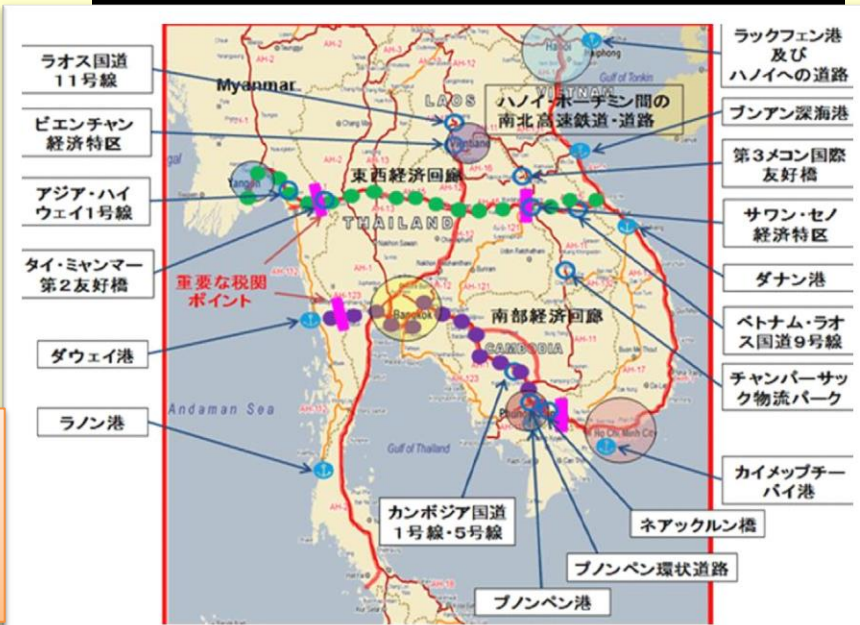


面積	68万KM2(日本の1.8倍)
人口(2014年9月)	5,141万人
(ミャンマー入国管理・人口省発表)	
通貨(ミャンマーチャット=MMK)	1 USD = 1,196.50 MMK
(2016年6月13日時点)	100 日本 円 = 1126.65 MMK
気候	夏期(3~5月)、雨期(6~10月)、冬期(11月~2月)
公用語	ミャンマー語
首都	Nay Pyi Taw(ネピドー=王の都の意)
民族構成	ビルマ族約69%で135民族が居住
実質GDP成長率(2016年度予測)世界銀行	7.8%
GDP/人(2013/14年度)IMF推定	1,113US\$
消費者物価上昇率(2013/14年度)IMF推定	6.3%
外貨準備高(2013年10月)	81億US\$
失業率(2013/14年度)IMF推定	4.0%
ミャンマー日本商工会議所(2016.4末)	301社
在留邦人数(2014年12月現在)	1,367人
ヤンゴン日本人会会員数(2016.6月)	984名
在日ミャンマー人数(2015年12月)	外国人登録者数 14,124人

## ミャンマーの主要都市



## 日本メコン経済回廊での位置づけ(出典:経産省)



### 地理的優位性

- ①ダウエイ⇄バンコクの陸路
  - ②マラッカ海峡を経由せずインド洋へ出る海路
- ダウエイ港の開発は日本・ミャンマー・タイ間で2014年合意済み

## ヤンゴンでの投資関連コスト

1,164(MMK)/1US\$ 2016/6/27		US\$月額	US\$年間				
賃金	製造業	一般工	127	2,062	電気料金	産業用	0.06~0.11(1KW/Hあたり)
		中堅技術者	388	4,700		一般用	0.03(1KW/Hあたり)
	非製造業	マネージャー	951	12,312	水道料金	産業用	0.88(1mあたり)
		一般職	336	4,867		一般用	0.44(1mあたり)
	マネージャー	801	11,525	ガス料金	産業用	0.92 kg	
	一般職	276/日/US\$			一般用	1.50 kg	
	法定最低賃金	2.76/日/US\$		輸送費	コンテナ	800	
	賞与	基本給与の1.32ヶ月分			輸送	350~400	
	社会保険負担率(雇用者)	~60歳7%/60歳超7.5%			2,000		
地価	工業団地 購入	外国人、個人の土地購入は不可		ガソリン価格	レギュラー	0.50~0.57(1ℓあたり)	
	工業団地 レンタル	0.43 US\$/㎡			軽油価格	0.48~0.51(1ℓあたり)	
税制	法人所得税	25%					
	個人所得税	0~25%(累進課税)					
	付加価値税(商業税)	5%(標準税率)					
	ロイヤルティ送金課税	max20%					

(出典)ジェトロセンサー 2016.5月号...2016年1月時点

(単位US\$)

(注)法律・政令の解釈・運用は日々変更があり、実際に進出を調査・検討される際は、必ず最新法律・政令の原典を確認ください。

# ② ビジネスには現地拠点が求められる!

ミャンマーは意欲的に経済特区を開発しています経済特区法(SEZ法)が制定され、現在3か所の経済特区が開発中、ミャンマー進出の外資企業に恩典が用意されている。

- ①ティラワ経済特区  
日本がリード。ミャンマー初の国際水準インフラ整備の工業団地
- ②ダウエイ経済特区  
南部経済回廊のミャンマー側終着点。日本も参加して深海港を開発予定
- ③チャウピュー経済特区  
中国がリード。ASEANからインド・中東・欧州へと抜ける玄関口。

## ティラワ経済特区とは!

- ①ヤンゴン市から南東23KMの近郊
- ②総面積は約2,400ha(山手線の約40%)。その中のZONE-A地区約400haを先行開発中。
- ③ティラワSZE管理委員会ワンストップサービスセンターの設置\*会社設立前後の諸手続きの総合窓口
- ④ティラワ経済特区(SEZ)のミャンマー側持ち株会社であるミャンマー・ティラワSEZホールディングス(MTSH)は5月20日、ヤンゴン証券取引所(YXS)で株式を上場した。



## 【工業団地のチェックポイント】

- ①電力供給は安定しているか
- ②工業用水は十分か、水質は大丈夫か
- ③地盤や排水処理能力は大丈夫か
- ④電話回線、ネット通信は大丈夫か
- ⑤周辺の隣接施設(銀行、日本食など)は充実しているか

## 2)現地状況のチェックはミャンマーの国際展示会で!

輸出でも現地拠点が重要です。営業、ショールーム、在庫機能、メンテ機能など現地パートナーにどこまで求めて販路開拓するのか、事前に研究しておきましょう。ヤンゴンで開かれる展示会情報は、JETROの<http://www.jetro.go.jp/j-messe/tradefair/>で確認ください。出展規模はまだ小さいです。下記は一例です。



### Manufacturing Myanmar 2016

2016年09月22日~2016年09月24日  
ヤンゴン

工場設備、金属切削工作機械、表面・熱処理、資材処理&貯蔵、溶接技術、板金技術、ソフトウェア&プロトタイプングシステム、計測・検査技術、金型&ダイス、ハンドツール&ツーリング。

<http://manufacturingmyanmar.com/>



### MEDICAL MYANMAR 2016, PHARMA MYANMAR 2016 And HOSPITAL CONSTRUCTION MYANMAR 2016

2016年10月06日~2016年10月08日  
ヤンゴン

医療・ヘルスケア機器/サービス、病院建設技術、製薬産業。

<http://www.medical-myanmar.com/>



### 3rd Myanmar BUILD & DECOR

2016年10月06日~2016年10月08日  
ヤンゴン

ビル・建物建材、ツール、装置、セメント、コンクリート、電気システム、セキュリティシステム、家具、インテリア、装飾関連、造園、プール等のシステム、照明、AVおよびサウンドシステム、ペンキ、ガラスなど

<http://www.myanmarbuilddecor.com/>



### Myanmar International Building & Construction Industry Show

2016年12月01日~2016年12月03日  
ヤンゴン

代替エネルギー、環境・給排水管理、空調・照明、建築技術、建築材料、デザイン設計、建設機械・機器。

<http://www.myanmarbuild.net/#>



(注):当商談会マニュアルは2016年6月末現在のものです。情報の正確性の確認・採否はお客様の責任と判断で行なってください。参考文献や検索結果の利用に関連して万一損害やトラブルが生じたとしても中小機構は責任を負いません。また、複製・転載を禁じます。